

---

# BLOOD

ME-GA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

B L O O D

### 【コード】

N 5 9 8 3 J

### 【作者名】

M E - G A

### 【あらすじ】

少年の眼下には無数の死体があった・・・。

少年の目前にはたくさんの仲間がいた・・・。

少年は今、何を想う・・・。

少年は分からなかった……。  
何故自分が数多の死体の上にいるのかも、  
何故自分が血に染まった剣を握っているのかも分からなかった。  
何故自分は一人なのか。

少年が分かっていたことは己の名前とただ一つ。  
自分の存在意義だけ。

作られた少年のたった一つの存在理由、それは……。

“殺せ”

それだけ。

少年は叫んだ。暗い、暗い、真つ暗闇の中で。  
孤独はいやだと。一人はいやだと。

“いやだ!!!”

“仲間を殺したくない!!!”

“止まってくれ!!!”

“もう、一人はいやなんだ!!!!!!!”

少年は分からなかった・・・。

何故自分の手が血で染まっているのかが。

何故仲間ではなく自分の血が着いているのか。

必死で叫んだ。体が動かない、動かせない。

ただ、仲間が傷つけられていく様を見ているしかできなかったのに。

少年は分からなかった・・・。

でも、あの頃のように

数多の死体は無かった。血に染まる剣も無かった。

一人じゃなかった。

仲間がいた。

少年は分からなかった・・・。

けれど感じた。

心が暖まっていくことを。

少年は・・・笑った・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5983j/>

---

BLOOD

2010年10月14日16時33分発行